

男女共同参画社会

を考える情報誌

ききょうフォーラム通信



『女性の活躍』で鳥獣被害対策を通じた地域づくりに取り組むまちをご紹介します。

江口教授の電気柵設置講習会
(美郷町の婦人会を対象に)



江口教授とイノシシのはく製

鳥根県邑智郡(おおちぐん)美郷町(みさとちょう)では、町ぐるみで鳥獣被害対策を行っています。

麻布大学生命・環境科学部教授、おおち山くじら研究所所長の江口祐輔氏に、美郷町の女性の活躍と鳥獣被害対策のポイントについて、お話を伺いました。

美郷町では、鳥獣被害対策で女性が活躍しています。対策は、地形、地域の特性に合わせて取り組む必要があります。柵を設置後に動物に入られたときなどは、「なんで失敗したんだろう？」と女性が粘り強く問題と向き合う姿がよく見られます。女性が10人話し合いに集まれば、家庭で友人同士だと100人に伝わっていきます。こうして鳥獣被害対策を中心とした地域づくりができてきます。

地域づくりに、女性の力が欠かせません。

捕獲したイノシシを引き取る仕組みを作ると、70代のおばあちゃんが「イノシシは連れて行ってくれるのね。私は畑を守ればいいんだね。」と言って、免許を取得し畑の近くに檻を設置してくれています。畑の農作物を食べて育ったイノシシは山でエサを探すことができないので、畑が柵で囲われてしまうとしぶしぶ檻の中のエサを食べに入ります。これはとても効率の良い対策です。捕獲したイノシシは生体で運ばれた後、食肉用に加工され、美郷町の食肉ブランド「おおち山くじら」として販売されたり、給食の材料として使われたりします。また、地域の女性たちによって皮も加工され名刺入れやキーケースなどを作り道の駅で販売しています。

たくさん採れた農作物で、週に1度の青空サロンで食べ物が振舞われ、地域の人みんなで朝ご飯を食べる、という風景も見られるようになりました。こういった地域づくりは美郷町モデルとして、富山県、大分県、三重県、東京都、神奈川県大磯町など日本の多くの地域に広がっています。



青空サロン



イノシシの皮の加工作業

鳥獣被害対策は、狩猟による個体数の管理だけでなく、**環境管理**が重要です。**鳥獣被害を減らすための環境管理のポイント**は、次の3つです。

①餌場を作らない

余った農作物を畑に放置しない、管理をやめた果樹をそのままにしないことが大切です。おいしく栄養豊富な農作物や果物がたくさんあると、野生動物は山でエサを探すことをやめてしまいます。そして畑のまわりで子育てをし、悪さをする動物が増えていきます。

②正しく柵を設置する

動物の行動を理解した上で設置することが大切です。(イノシシ対策の電気柵設置のポイントは裏面参照)

③隠れる場所をなくす

畑、田んぼの回りの茂みをなくす、果樹園、竹林の雑草を管理することが大切です。野生動物は警戒心が強いので、茂みや下草に身を隠しながら農作物を狙います。姿が見えるように草刈りをする事で野生動物がやっつきにくくなります。また、電気柵を設置した場合、下草が伸びてくると漏電してしまうため、管理が重要です。

裏面に続く

イノシシ対策の電気柵設置のポイント

通電は24時間。
夜間しか通電されていないことに気が付くと、日中を狙ってきます。

上の段は地面から40cm。

24h

下の段は地面から20cm。

支柱の外側に電線がくるように張る。
支柱を鼻先で触ったときに感電するように、電線は外側に設置します。

柵の外側50cmは地面であること。
イノシシの足が土に触れていないと、アース線の効果が発揮出来ません。

新体制での活動が始まりました

梅のさわやかな香りが漂うこの頃、市民の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと存じます。日頃から伊勢原市男女共同参画推進委員会の活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。本委員会におきましては、昨年半数に当たる6名の委員の入れ替えがあり、新しい価値観や経験を吸収することで、研究や活動の幅を広げ、これまで以上に男女共同参画の考えが市民の皆様によく理解されるよう有用な情報や提案をしていく所存です。家庭、職場、地域活動等、ジェンダーによる男女の不当な差別をなくし、誰もが実力を発揮できる社会を目指して活動してまいりますので、今後ともご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

伊勢原市男女共同参画推進委員会 委員長 和田 優

いせはら男女共同参画フォーラムの講演動画を公開します

「アートの世界から考える わたしたちの身近なジェンダー問題」と題して、YouTube動画を配信します。次の2次元コード・URLからご覧いただけます。配信期間は令和5年3月1日(水)～3月31日(金)です。好きな時間にご視聴ください。(手話通訳、字幕付き、事前申込不要)
<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2021113000051/>



講師 竹田 恵子 氏

東京女子大学女性学研究所准教授
EGSA(Education of Gender and Sexuality)JAPAN 代表

【編集後記】今回は新メンバーで初の発行となります。男女共同参画という固い響きでどこか構えてしまいそうですが、この紙面が、多くの皆さまの「気付き」のきっかけになれば幸いです。ご意見ご感想をお寄せください。

編集 伊勢原市男女共同参画推進委員会
編集部会

発行 伊勢原市人権・広聴相談課
人権・男女共同参画推進係
伊勢原市田中 348
電話:0463-94-4716(直通)
FAX:0463-92-9009
E-mail:jinken@isehara-city.jp

伊勢原市男女共同参画推進委員会
(2023年1月1日現在)

委員長 和田優 副委員長 紫牟田かな子
企画部会 渡辺賛奈、吉田哉子、石明日香、
亀井則男、城所重夫、和田優
編集部会 片伯部竜也、臼井裕二、川畑明香、
小林孝子、紫牟田かな子、西村賢一